

モデル事業の検証・評価

段階Ⅱ：設立から地域コミュニティプラン策定まで

各委員検証・評価用

【資料4】

区分	項目		検証・評価
	市	モデル地域	
1 地域課題抽出・地域資源確認	<p>(1) モデル地域への働きかけ 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を説明し、理解が得られたか。</p> <p>(2) モデル地域への支援、助言 ①住民アンケートの進め方など、地域課題の抽出、地域資源の把握の仕方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) プラン策定委員会の設置 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を理解し、プラン策定委員会を設置できたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 地域住民の意見や地域課題の抽出、地域資源の把握ができたか。</p> <p>(3) 行政の支援体制 プラン策定のための現状把握にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>	
2 内容検討・策定	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①基本方針や主な活動、事業のまとめ方など、具体的な進め方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 プランは、地域住民の意見を把握した上で、策定委員会や各部会で作業を進め、策定されたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①プランは、策定委員会や各部会において、地域住民の意見も踏まえる中で作業を進め、策定することができたか。 ②5年先を見据え、地域の実情に合った、実行可能なプランが策定できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 プラン内容の検討、策定にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>	
3 運営・活動	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①市の補助制度は、地域コミュニティ協議会の活動等の支援につながったか。 ②事務局職員に対する研修を行ったか。 ③モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①協議会設立により、構成団体間の情報共有や役割等を分担し、負担の軽減などを図ることができたか。 ②事務局は定期的開設できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 ①市の補助制度の内容や金額は、地域コミュニティ協議会の活動等において適切であったか。 ②事務局職員に対する研修の内容は適切であったか。 ③協議会の運営、活動にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>	
4 推進体制	<p>(1) 情報共有、調整等 モデル事業を推進する上で、関係課との情報共有や関係課間の調整を行うことができたか。</p>	/	

モデル事業の検証・評価

段階Ⅱ：設立から地域コミュニティプラン策定まで

各委員検証・評価用

記入例【資料4】

区分	項目		検証・評価
	市	モデル地域	
1 地域課題抽出・地域資源確認	<p>(1) モデル地域への働きかけ 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を説明し、理解が得られたか。</p> <p>(2) モデル地域への支援、助言 ①住民アンケートの進め方など、地域課題の抽出、地域資源の把握の仕方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) プラン策定委員会の設置 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を理解し、プラン策定委員会を設置できたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 地域住民の意見や地域課題の抽出、地域資源の把握ができたか。</p> <p>(3) 行政の支援体制 プラン策定のための現状把握にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>	<p>【記入例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市は、協議会役員会に対し、地域の将来を見据えたまちづくりに取り組むためには地域の課題抽出や地域資源の確認を通して策定する計画が必要であることを、他都市の事例紹介やその策定手順を含めて丁寧に説明を行い、地域によるプラン策定の取組が始まった。作業が進む中で、策定の目的を繰り返し説明するなど、プランが地域によって主体的に策定されるように支援した。 地域においては市の説明を受け、協議会の役員、各部会長・副会長を中心とした地域コミュニティプラン策定委員会が設置された。部会ごとに項目を検討した住民アンケートの実施、危険箇所点検や史跡確認などのまち歩きなどを通して、地域課題の抽出、地域資源の確認が行われた。 拡大期においては、先行校区によるアンケート項目や他都市事例の情報などを積極的に紹介しながら、地域の実情に合った作業の進め方をアドバイスしていった。
2 内容検討・策定	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①基本方針や主な活動、事業のまとめ方など、具体的な進め方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 プランは、地域住民の意見を把握した上で、策定委員会や各部会で作業を進め、策定されたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①プランは、策定委員会や各部会において、地域住民の意見も踏まえる中で作業を進め、策定することができたか。 ②5年先を見据え、地域の実情に合った、実行可能なプランが策定できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 プラン内容の検討、策定にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>	<p>【各委員による検証・評価についてのお願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回は、地域コミュニティ協議会の設立後から地域コミュニティプランが策定されるまでの段階においての、検証・評価をお願いします。 市の働きかけや取組がどうであったか、モデル地域の取組がどうであったかを踏まえて、拡大期においてどのような取組が望まれるかなどをとりまとめてください。
3 運営・活動	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①市の補助制度は、地域コミュニティ協議会の活動等の支援につながったか。 ②事務局職員に対する研修を行ったか。 ③モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①協議会設立により、構成団体間の情報共有や役割等を分担し、負担の軽減などを図ることができたか。 ②事務局は定期的に開設できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 ①市の補助制度の内容や金額は、地域コミュニティ協議会の活動等において適切であったか。 ②事務局職員に対する研修の内容は適切であったか。 ③協議会の運営、活動にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>	
4 推進体制	<p>(1) 情報共有、調整等 モデル事業を推進する上で、関係課との情報共有や関係課間の調整を行うことができたか。</p>		

モデル事業の検証・評価

段階Ⅱ：設立から地域コミュニティプラン策定まで

メモ用(中名地域コミュニティ協議会)

【資料5-1】

区分	項目		検証・評価	
	市	モデル地域	市	モデル地域
1 地域課題抽出・地域資源確認	<p>(1) モデル地域への働きかけ 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を説明し、理解が得られたか。</p> <p>(2) モデル地域への支援、助言 ①住民アンケートの進め方など、地域課題の抽出、地域資源の把握の仕方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) プラン策定委員会の設置 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を理解し、プラン策定委員会を設置できたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 地域住民の意見や地域課題の抽出、地域資源の把握ができたか。</p> <p>(3) 行政の支援体制 プラン策定のための現状把握にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
2 内容検討・策定	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①基本方針や主な活動、事業のまとめ方など、具体的な進め方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 プランは、地域住民の意見を把握した上で、策定委員会や各部会で作業を進め、策定されたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①プランは、策定委員会や各部会において、地域住民の意見も踏まえる中で作業を進め、策定することができたか。 ②5年先を見据え、地域の実情に合った、実行可能なプランが策定できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 プラン内容の検討、策定にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
3 運営・活動	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①市の補助制度は、地域コミュニティ協議会の活動等の支援につながったか。 ②事務局職員に対する研修を行ったか。 ③モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①協議会設立により、構成団体間の情報共有や役割等を分担し、負担の軽減などを図ることができたか。 ②事務局は定期的に開設できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 ①市の補助制度の内容や金額は、地域コミュニティ協議会の活動等において適切であったか。 ②事務局職員に対する研修の内容は適切であったか。 ③協議会の運営、活動にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
4 推進体制	<p>(1) 情報共有、調整等 モデル事業を推進する上で、関係課との情報共有や関係課間の調整を行うことができたか。</p>			

モデル事業の検証・評価

段階Ⅱ：設立から地域コミュニティプラン策定まで

メモ用(八幡校区コミュニティ協議会)

【資料6-1】

区分	項目		検証・評価	
	市	モデル地域	市	モデル地域
1 地域課題抽出・地域資源確認	<p>(1) モデル地域への働きかけ 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を説明し、理解が得られたか。</p> <p>(2) モデル地域への支援、助言 ①住民アンケートの進め方など、地域課題の抽出、地域資源の把握の仕方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) プラン策定委員会の設置 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を理解し、プラン策定委員会を設置できたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 地域住民の意見や地域課題の抽出、地域資源の把握ができたか。</p> <p>(3) 行政の支援体制 プラン策定のための現状把握にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
2 内容検討・策定	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①基本方針や主な活動、事業のまとめ方など、具体的な進め方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 プランは、地域住民の意見を把握した上で、策定委員会や各部会で作業を進め、策定されたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①プランは、策定委員会や各部会において、地域住民の意見も踏まえる中で作業を進め、策定することができたか。 ②5年先を見据え、地域の実情に合った、実行可能なプランが策定できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 プラン内容の検討、策定にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
3 運営・活動	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①市の補助制度は、地域コミュニティ協議会の活動等の支援につながったか。 ②事務局職員に対する研修を行ったか。 ③モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①協議会設立により、構成団体間の情報共有や役割等を分担し、負担の軽減などを図ることができたか。 ②事務局は定期的に開設できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 ①市の補助制度の内容や金額は、地域コミュニティ協議会の活動等において適切であったか。 ②事務局職員に対する研修の内容は適切であったか。 ③協議会の運営、活動にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
4 推進体制	<p>(1) 情報共有、調整等 モデル事業を推進する上で、関係課との情報共有や関係課間の調整を行うことができたか。</p>			

モデル事業の検証・評価

段階Ⅱ：設立から地域コミュニティプラン策定まで

メモ用(平川まちづくり協議会)

【資料7-1】

区分	項目		検証・評価	
	市	モデル地域	市	モデル地域
1 地域課題抽出・地域資源確認	<p>(1) モデル地域への働きかけ 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を説明し、理解が得られたか。</p> <p>(2) モデル地域への支援、助言 ①住民アンケートの進め方など、地域課題の抽出、地域資源の把握の仕方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) プラン策定委員会の設置 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を理解し、プラン策定委員会を設置できたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 地域住民の意見や地域課題の抽出、地域資源の把握ができたか。</p> <p>(3) 行政の支援体制 プラン策定のための現状把握にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
2 内容検討・策定	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①基本方針や主な活動、事業のまとめ方など、具体的な進め方を説明し、理解が得られたか。 ②モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p> <p>(2) 地域の主体性 プランは、地域住民の意見を把握した上で、策定委員会や各部会で作業を進め、策定されたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①プランは、策定委員会や各部会において、地域住民の意見も踏まえる中で作業を進め、策定することができたか。 ②5年先を見据え、地域の実情に合った、実行可能なプランが策定できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 プラン内容の検討、策定にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
3 運営・活動	<p>(1) モデル地域への支援、助言 ①市の補助制度は、地域コミュニティ協議会の活動等の支援につながったか。 ②事務局職員に対する研修を行ったか。 ③モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。</p>	<p>(1) 地域の主体性 ①協議会設立により、構成団体間の情報共有や役割等を分担し、負担の軽減などを図ることができたか。 ②事務局は定期的に開設できたか。</p> <p>(2) 行政の支援体制 ①市の補助制度の内容や金額は、地域コミュニティ協議会の活動等において適切であったか。 ②事務局職員に対する研修の内容は適切であったか。 ③協議会の運営、活動にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。</p>		
4 推進体制	<p>(1) 情報共有、調整等 モデル事業を推進する上で、関係課との情報共有や関係課間の調整を行うことができたか。</p>			